

莊厳整い光輝く本堂内陣！ (黒漆塗り・金箔等工事完了)



内陣床と框の黒漆塗・金箔補修等の工事完了により
厳かに光輝き報恩講を待つ本堂内陣（25.9.15撮影）



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会い(であ)いの時間

▼今年の報恩講法要は例年と違つて一段と荘厳が整つた本堂でお勤めすることができます▼黒光りした内陣の床や框、牡丹彫刻の純金箔押しの欄間、彫刻金色仕上げの前卓など、どれをとつても立派なもので敬念寺の宝となりました▼これは有り難いことに、近年、永代経懇志をご上納下さった方々のおかげであります。この度の報恩講は、その感謝と仏祖への奉告の永代経法要併修でもあります▼永代経とは、一般的に言う亡き人や私の祖先代々だけの永代の供養の意味ではありません。ましてや永代経と言ふお経があり、それを読むことでもありません。直訳すれば、お寺で途絶えることなく（永代に）お経のおつとめが行われる（永代性）と言う意味であります▼そのために一般には葬儀や亡き人の法事などを機縁に自分の子孫だけに資産を残すのではなく、お寺に・・・・・と、ある程度まとまつた懇志を納めたりするのが篤信地などの浄土真宗のお寺の習わしとなつていました▼したがつて永代経法要は、もつともつと自分たちのお寺が良くなり、永代護持・存続していくために大切な法要と位置づけられていたのです▼この度の報恩講は、この永代経の心にも学び荘厳が立派に整つた本堂を中心に、一人でも多くの皆さんのご参拝のもと、にぎやかにお勤めしますよう▼考えてみれば、敬念寺とのご縁は、浄土真宗・親鸞さまのご縁。その方のご法事である報恩講は、お彼岸やお盆の法要より大切な法要です▼秋の一日、いや半日、映像で親鸞さまの一生を学び、聖人讃仰の正信偈を唱和、高橋先生による「ご開山（親鸞）聖人のみ教え」の法話。コーラルガンダーの仏教讃歌に耳を傾け、お齋（食事）に舌鼓をうつなど色濃い法要・行事です。▼十一月十日（日）は、ご都合をつけられ是非ご参拝下さい。

小僧の目

釋玄真

- 11月10日(日) 報恩講法要 前10:00
講師 高橋純明先生(新潟県)
- 1月1日(水) 元旦会 前7:00
- 1月16日(木) 御正当法要 前10:00
- 3月21日(金) 春の彼岸法要 前10:00
講師 清水正宣先生(和歌山県)

定例法話会
ご案内

- 11月20日(水) 講師 坂野実慈先生 (愛知県)
 - 12月20日(金) 講師 寺西良夫先生 (富山県)
 - 1月20日(月) 講師 未定
 - 2月20日(木) 講師 三寄靈証先生 (福井県)
 - 3月20日(木) 講師 清水正宣先生 (和歌山県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。



讚仏偈でおつとめ

第三十回ファミリー参拝【七月十三日（土）】は、昨年に引き続き、若院から若い門徒の方々に企画・運営への参加を呼び掛けて、賑やかに行われました。今年は、お勤めの前のイベントとして、「お念珠」作りを親子で楽しみ、その後、讚仏偈によりお勤めをさせていただきました。

境内では恒例の流しソーメンをはじめ、綿あめ、ポップコーン、輪投げ、ヨーヨー釣り、じゃんけんを行い、いずれも大好評。家族で楽しいひと時を過ごしました。



子どもの作ったお念珠を若院さんたちが仕上げ



親子でお念珠づくりに挑戦！

第三十四回目の早朝連続参拝が八月一日から十日間行われ、延べ六百十人が参加。今年も皆さん熱心にお勤めされました。猛暑の今夏でしたが、一日の朝は、早朝連続参拝初めての雨降りでした。今年も、**メイン講師を若院にお願いし、「讚仏偈に学ぶ」をテーマに**、日ごろお勤めさせていただきことも多い讚仏偈について、お話ししていただき、少しながら、讚仏偈の意味を知ることができました。

また、初日はご住職から、同じ「食」の字でも違う言い方があり（たべる・くう・いただく）、どうとらえるのかが、人生の意義に関わること、衣食住に通ずる大事なこと、などのご法話を、最終日にはまとめのご法話を聴聞させていただき、参加者一同充実感あふれた連続参拝となりました。

四日目の日曜日は、昨年・一昨年に続き赤川淨友先生から「亡き人からの呼びかけ」と題した法話を聴聞させていただきました。

赤川先生は、大震災被災地・東北への訪問活動もされています。今年

八月一日から十日間行われ、延べ六百十人が参加。今年も皆さん熱心にお勤めされました。猛暑の今夏でしたが、一日の朝は、早朝連続参拝初めての雨降りでした。今年も、**メイン講師を若院にお願いし、「讚仏偈に学ぶ」をテーマに**、日ごろお勤めさせていただきことも多い讚仏偈について、お話ししていただき、少しながら、讚仏偈の意味を知ことができる良い機会となりました。

また、初日はご住職から、同じ「食」の字でも違う言い方があり（たべる・くう・いただく）、どうとらえるのかが、人生の意義に関わること、衣食住に通ずる大事なこと、などのご法話を、最終日にはまとめのご法話を聴聞させていただき、参加者一同充実感あふれた連続参拝となりました。

赤川先生は、ピアノ伴奏で当日の参加者をお迎えされ、法話の最後にも、ピアノ伴奏で皆さんと歌を二曲歌われるなど、楽しく心に残るご法話となりました。

また、初日には大洞会長からも挨拶とお話しがありました。

第三十四回となる早朝連続参拝に延べ六百十人参加（皆勤四十一人）



赤川先生がピアノ伴奏でお迎え(25.8.4)

のご法話では、「実になる」こと、「手の身になる」こととも亡き人からの呼びかけであることや、昨年も紹介された感動的な作文を例にして、「他力」に気付くことは「信心をいただく」ことであることをお話しされました。

赤川先生は、ピアノ伴奏で当日の参加者をお迎えされ、法話の最後にも、ピアノ伴奏で皆さんと歌を二曲歌われるなど、楽しく心に残るご法話となりました。

また、初日には大洞会長からも挨拶とお話しがありました。

第二回 敬念寺早朝公開講座開催!

金松敏也先生（理学博士）

第二回の講座が六月十六日、次世代の会「敬真会」主催、門信徒会共催で開催されました。お寺から社会に情報発信するため、今後も継続して開催される予定です。

今回の講座には、独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC・ジャムステック）の技術研究副主幹で活躍されている、金松敏也先生をお招きして、興味深いお話をお聞きすることができました。超水圧に耐える構造の海洋探査船「うらしま」や「しんかい6500」、海底掘削船「ちきゅう」で地震の温床である海底地層を調査している様子や、海底に眠る鉱

物資源（燃える氷といわれる、メタンハイドレード）の掘削状況などをスライド写真で説明、不思議な深海の世界が紹介されました。



スライドの一コマ(25.6.16)

一早朝連続参拝余話一

昨年行われなかつた参加者の感話でしたが、今年は次の方々から貴重なお話を伺うことができ、それぞれ味わいのある内容で、皆さんに深い感銘を与えていただきました。御礼と共に感話の概要を紹介させていただきます。

（文責：会報組織委員会）

第二回 吉田龍司さん

「私とお寺」

「今日もがんばる！」などの口癖が新しい脳を作り、古い脳を刺激する。お経を、毎日口癖にして生活していきたい。

第三回 北嶋裕子さん

「第八期松本組連研に参加して」

知ることを実感した研修であった。本堂に集い、今日の命の大切さを知る私である。

第五回 渡辺和江さん

「お寺とコールガンダーラ」

法話会、組連研等を通じ、毎日の生きがい・心の糧となつてゐる。婦人部の活動、コールガンダーラもその一つ。皆さんも仏教讃歌と一緒に歌いませんか！

第六・七回 坊守（金松洋子）さん

「趣味に生きる—能や謡曲から学ぶ仮の教え」

謡曲、仕舞を四十歳過ぎてから

始めた。羽衣、安宅、安達原などよく知られた謡曲がある。お淨土のことについても謡われており、浄土真宗のみ教えの真髓、「本願を信じよ！」に通じている。の平家物語では彼の人生観・芸術

第八・九回 千原博幸さん

「仏教と私—インド仏教遺跡を訪ねて」

* 釈尊修行の地

* 釈尊初転法輪の地

* 釈尊伝道説法の地

* (余話) ヴィーラナシーのヒンデウー教聖地

平成二十一年十月、インド仏教遺跡を訪ねた様子を、スライドに

よりお話しされた。貴重な写真が紹介されるたび、参加者は興味深く目に焼き付けていました。

第十回 鷹野原 仁さん

「教化活動を通じて」

三回目の感話発表となる。今回は教化活動について振り返り。(1) の柱は、ファミリー参拝、こどもからお寺に足を向けてもらう。(2) の柱は、早朝連続参拝③の柱は報恩講④の柱はコールガンダーラ、大きな声・腹式呼吸で歌うことは良いこと。「しゃばん玉」や「夕焼けこやけ」の歌詞の内容がみ教えに通じている。



前卓が内陣床に映り輝く（25.9.15）



本堂内陣床塗装工事の様子（25.6.11）



化粧直された欄間・巻障子・ふすま・かまち



法要時に使用する登高座・礼盤も金箔で化粧直し

平成二十五年度 報恩講法要ご案内

—今年最後の法要です。おさそい合わせてお参り下さい—

- ◆日 時 平成二十五年十一月十日（日）午前十時より
（開始十分前には入堂ご着席ください。）

- | | |
|--------|-------------|
| ○受付 | 九時三十分～九時五十分 |
| ○報恩講法要 | 十時～十一時 |
| ○法話 | 十一時～十二時 |

講師 新潟県長岡市西福寺住職

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| ◆報恩講協賛 | 「(一)開山（親鸞）聖人のみ教え」
高橋純明先生 |
| ○おとき（会食） | 十二時～十三時 |
| 門信徒作品展・菊花・山野草展示他 | |



編集後記

ご住職の御恩報謝の念による

拠出資金に加え、尊い永代経懇志をもつて実施された「特別事業」が無事完了いたしました。本堂内陣床黒漆塗り、前卓純金箔・彫刻金彩仕上げ、巻障子框黒漆塗りと和紙仕上げ等（前号三頁参照）により、門信徒が崇敬する敬念寺の本堂は、一段と整った姿となり莊厳さを増して皆様をお迎えしています。来る十一月十日（日）には、浄土真宗の門信徒にとって大切な「報恩講」法要が行われます。多くの皆様にご参拝いただき、光り輝く本堂にて合掌されるようご案内いたします。

（白田記）